

開南大學 96 年度第 2 學期 應用日語學系、所、中心科目教學計劃表

課程編號	3 2 4 0 M 1 2 5 0		授課教師：上原聡 老師
班次	01	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選修	老師 e-mail : uehara@intcul.tohoku.ac.jp 老師分機：
開課系所：	應用日語 學系		
年級班別：	M1 年 班		
課程名稱(中文)		學分數	課程名稱(英文)
語言學和日本語教育		2	Intensive Course-Linguistics and Japanese Language Teaching
教學目標 與內容	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語で書かれた論文を読むことを経験し、慣れる ・言語によるコミュニケーションが語彙と文法だけで成り立っているのではないことを理解し、言語の様々な面に目を向けるようにする ・談話分析を中心に言語学の基本概念について学ぶ ・いくつかの具体的な日本語表現の微妙な使い分け、また同様の機能を持つ表現の言語間の差異に関して、客観的な分析によってまず自分が理解し、またそれをどのように教育の場に導入するかを考える <p>内容</p> <p>言語学、特に談話分析の日本語研究の論文を読み内容を話し合っ理解を深めることにより、言語とそれによるコミュニケーションに興味を持ち、言語研究の成果が日本語教育にどのように活かせるかを考えるようにする。</p>		
實施方法	<input type="checkbox"/> 講解法 <input type="checkbox"/> 實作法 <input type="checkbox"/> 討論法 <input type="checkbox"/> 演習法 <input type="checkbox"/> 問答法 <input type="checkbox"/> 其他 _____ 宿題(宿題は出さない日があってもよいが、評価のため各最低回数は出すこと。最低回数以上出した場合は、その中からよいものを採点する)： 宿題1：その日学んだことの要点をまとめる[半～1ページ：[最低1回出す] 学んだことの中で自分が大事だと思うことを箇条書きで 宿題2：次の日に読む論文を予習しその要旨を書く[半～1ページ：最低2回出す] 何についてどんなデータで結果として何がわかったかを文章で 宿題3：授業で学んだ「ミスコミュニケーション」の言葉とその場面／背景を書く[半～1ページ：最低1回出す]		
評量方式	期中測驗 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> % 期末測驗 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> % 平時成績 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> % 其他 <u>レポート、発表</u> 成績 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> %		
授課使用及	(請按作者、書名、版別、出版商、發行地、出版年份、起訖頁數順序填寫)。		

課務組
97.4.27
收文章

<p>參考書籍</p>	<p>教材論文名：</p> <p>「『言いません』としか僕は言わないです：会話における丁寧体否定辞の二形式」 福島悦子・上原 聡、『言語学と日本語教育 III』 南雅彦・浅野真紀子（編） 269-286 頁 くろしお出版. 2004 年・</p> <p>「そうじゃないんじゃないんですか：自然談話をもとにした『じゃない』の研究」 上原 聡・福島悦子・北野浩章、『言語学と日本語教育--実用的言語理論の構築をめざして』 アラム佐々木幸子（編） 197-212 頁 くろしお出版. 1999 年・</p> <p>「自然談話における『裸の文末形式』の機能と用法」 上原 聡・福島悦子、『日本語教育論集：世界の日本語教育』第 14 号、109-123 頁. 2004 年・</p> <p>「談話レベルからみた『依頼談話』の切り出し方—日本人大学生と中国人大学生の依頼談話から—」 謝オン、『日本研究教育年報』5 東京外国語大学・2001 年・</p>
-------------	---

科目簡介(含課程大綱及教學進度)：

授業日程：

	テーマ／論文名	キーワード／鍵概念
第 1 日	「ません」と「ないです」	談話、客観的研究、丁寧度、類像性
第 2 日	「じゃない」	推量、形態的特徴、文脈状況と使い分け
第 3 日	裸の文末形式	独白、情報伝達、終助詞、含みと働きかけ
第 4 日	依頼談話	談話展開、文化、積極的／消極的面子
第 5 日	自由討論	

説明：

1. 授課教師於學期前填寫本表，經課程委員會審核後，影印分送給教師所屬課程委員會召集人，授課班級所屬系、所及教務處課務組；並於開始上課時，將本內容向學生說明。
2. 本表於 91.4.23 第四次校課程委員會討論通過。

課程委員會召集人：

應日系主任 陳姿菁

授課教師：上原聡

